

中央教育審議会

第2回学校安全部会

Kagoshima City Board of Education

令和8年9月25日
学校安全部会(第2回)
資料3



令和8年9月25日(金)

学校安全におけるDX推進の 取組と今後の展望

鹿児島市教育委員会教育DX担当部長
木田 博

自己紹介／鹿児島市教育委員会 教育DX担当部長 木田 博

文部科学省 学校DX戦略アドバイザー 企画調整委員 (R5～)

ICT活用教育アドバイザー(R2～)企画調整委員 (R3～4)

中央教育審議会「次期ICT環境整備方針の在り方ワーキンググループ」委員 (R5～6)

中央教育審議会「初等中等教育分科会学校安全部会」臨時委員 (R8)

「学習eポータル」に関する専門家会議」委員 (R4・R5)

「リーディングDXスクール事業」推進委員(R5～7)

「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」有識者ヒアリング

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」有識者ヒアリング(R5)

「教育データの利活用」に関する有識者会議」委員 (R6)

「相互運用標準モデル」に関する専門家会議」委員 (R6)

「次世代校務DXガイドブック」作成協力者 (R6)

「初等中等教育における教育データの利活用を支えるシステム間連携」の在り方に関する専門家会議」委員 (R7)

総務省 「教育分野におけるPDSの活用に関する実証事業」協議会委員 (R7)

鹿児島県 「教育の情報化」推進連絡協議会 委員 (R5～)

「各学校・課程・学科の垣根を越える高等学校改革推進事業」運営指導委員長 (R6)

徳島県 「GIGAスクール構想推進本部教育DXタスクフォース」委員 (R7～)

滋賀県 「学校教育情報化連携推進会議」学識経験者委員 (R7)



学校安全のDX化における基本的な考え方

学校安全のDX化は、児童生徒を事故・災害・犯罪等から「守る」だけの取組ではなく、「安全管理」と「安全教育」の二つの側面から、両者を一体的に推進し、自然災害、交通事故、不審者等、複雑化する現状に対し、**経験と勘に依存していた学校安全を、データとデジタル技術によって可視化・共有・分析し、より予防的・科学的・主体的な安全確保につなげることに加えて、デジタル技術を活用して、児童生徒自身が危険を予測し、状況に応じて判断し、自他の安全を確保し、安全な社会づくりに参画する資質・能力を育成することが重要である。**

学校安全におけるDX推進は、単に紙の資料をPDF化する「デジタル化（Digitization）」から安全管理のプロセスを最適化し、安全教育の指導方法を変革する「構造的転換（Digital Transformation）」へ

区分	従来の運用／As Is	DX後の運用(例)／To Be
1.安全点検・環境管理	紙のチェックシートに記入、職員室で転記・保管。集計や共有に労力を要する。	クラウドフォームや専用アプリで端末から入力。不具合箇所の写真や位置情報をリアルタイム共有・蓄積。
2.危険予知・安全マップ作成	紙の地図にシールを貼り、掲示板に掲示。 情報が更新されず学級及び校内に閉じがちもしくは、学校Webサイトに掲載	GIGA端末やGIS機能を活用し、児童生徒が自ら危険箇所を投稿。デジタル安全マップとして家庭・地域とオープン共有。
3.登下校及び校内外における安否確認	電話による欠席連絡、連絡網による順次連絡。集計に時間がかかり連絡漏れが発生。	保護者連携アプリによる一括欠席受託、GPSタグによる登下校通過通知、災害時の即時安否確認。校務用スマホによる即時連絡・共有
4.危機管理マニュアルの作成・更新	分厚い紙のバインダーに収納。緊急時に持ち出せず、最新状態への改訂が不十分。	クラウド型インタラクティブマニュアル。事象別フローチャートに即座にアクセスでき、更新もリアルタイム。
5.安全教育の充実	「事故や災害から身を守るための知識・行動を教える」ことが中心	予測困難な危機に対して、シミュレーション教材やVR等を活用し、子ども自身が情報を収集・判断し、周囲と協働して安全を創り出す力を育てる

【1.安全点検・環境管理】 安全点検のデジタル化(例)

【従前の安全点検フロー】

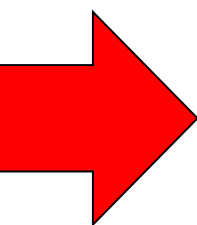
- 安全点検簿（紙）への記入
※画像等の添付は不可
- 点検簿の各自提出
- 担当等による点検簿の集約
- 点検箇所の評価
- 改善の実施

【デジタル化による安全点検フロー】

- 安全点検簿（デジタル）へのタブレット等からの記入
※点検結果や点検箇所の画像
- MS ExcelやGoogle スプレッドシート等によるWeb共有
※即時の共有（提出・集約の必要なし）
- 点検箇所の評価
- 改善の実施



紙の点検簿への記入



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	
1	◎「目視」「打音」「振動」「負荷」「作動」などの複数の方法を組み合わせて点検を行う。														係	印	教頭	印	校長	印
2	◎異常箇所がある場合は、写真の貼り付けにより、情報共有がより効果的に行えます。																			
4				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
	点検者	点検日	など、釘やハンカシなどで確認する。落下しないかなどを確認する。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	壁の状況。段差はないか。	
5																				
6		1年1組教室	3/18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7		1年職員室前トイレ（男子）	3/18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8		1年職員室前トイレ（女子）	3/18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9		1年職員室前トイレ（女子）	3/18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10		第1音楽室	3/18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11		音楽準備室1	3/18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12		音楽準備室2	3/18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13		第2音楽室	3/18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14		音楽室横トイレ（女子）	3/18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15		東側非常階段（4F～3F）	3/18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16		校庭	3/19	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17		外更衣室	3/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18		校庭トイレ（男子）	3/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19		校庭トイレ（女子）	3/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20		体育倉庫	3/19	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21		体育館	3/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22		武道館	3/19	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23		プール	3/19	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24		用具室	3/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
25		1年3組教室	3/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26		テニスコート（男子）	3/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27		北側非常階段（3F～2F）	3/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
28		図書室前トイレ（男子）	3/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
29		中央階段（3F～2F）	3/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30		3階学習室C	3/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31		1年職員室	3/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

安全点検簿のWeb共有



端末から入力



点検箇所の画像の共有

【1.安全点検・環境管理】安全点検Webアプリの作成と利用（生成AIの活用）

【アプリ作成のフロー（プロンプト）】

①文科省「学校における安全点検要領」を参照して、本校の「学校施設安全点検表」を改善案を示して。

「R7学校施設安全点検表」改善方針・要領

1. 全体方針と改善のポイント

1. PDCAサイクルおよび事故情報（リスク）の反映

- 日本スポーツ振興センター（JSC）の事故データ（「窓からの転落」「設置物の転倒・落下」「フック等の突起物による傷」等）や、校内のヒヤリハット事例・

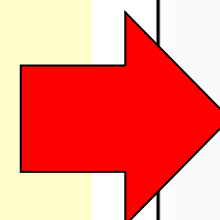
②これらの改善を反映したWebアプリを作成して。
→生成されたアプリを修正

③結果を学校職員で即時、共有できるようにし、点検結果がダッシュボードで確認できるようにして。

学校職員の皆様で点検結果を即時共有し、毎月の点検状況をダッシュボードで直感的に視覚化・確認できるWebアプリケーションを作成しました。

このアプリは以下の機能を備えています：

- リアルタイム共有機能**: 現場（校舎・体育館・校庭など）でスマホやタブレットから点検結果を送信すると、全職員の画面へ即時に反映・共有されます。
- 月次ダッシュボード**: 月ごとの点検完了率、要修繕・危険箇所の発生件数、カテゴリ別（校舎・体育館・校庭・防災等）の状態をグラフと数値カードで一目で把握できます。
- マルチデバイス対応**: タブレットやスマートフォンでの現場点検作業にも最適化されたレスポンスデザインです。
- クラウド同期機能（Firestore連携対応）**: 複数端末からのリアルタイム同期に対応しています。



アプリ：生成AI（Google Gemini）を活用して試作

 学校施設・安全点検システム

リアルタイム同期中

月次ダッシュボード 点検入力 即時共有ログ

担当者: 田中 先生 (防災担当) v

点検時の入力

 安全・施設点検 即時入力フォーム

点検結果を送信すると、職員全体のダッシュボードに即座に反映されます。

点検エリア / 対象施設 *

校庭・グラウンド・遊具 v

具体的な場所 / 設備名 *

校庭南側のブランコ

点検結果ステータス *

 正常・異常なし

 要観察・注意

 至急要修繕

点検メモ・不具合の詳細 *

思ったよりも、腐食が激しく、とりあえず急ぎ利用中止にすべきかと思います。

現場写真の添付 (任意)

画像を撮影、添付



写真が選択されました

点検結果を送信・職員間で即時共有

【2.危険予知・安全マップ作成】 校区安全マップのデジタル化（Web掲載）

鹿児島市立吉野東小学校

099-
お問い合わせ

学校概要
お知らせ

メニュー
Menu

- 学校概要
- 規約
- グランドデザイン
- いじめ防止基本方針・生活のきまり
- 学校だより
- 令和8年度 行事予定
- 校時表
- 学校評価
- 小中連携
- 各種調査結果等
- 交通安全危険箇所マップ
- 新1年生保護者へのお知らせ (Q&A)
- ★吉野東小学校PTA

学校ブログ
School Blog

トピックス TOPICS

小中連携研修会

吉野東小学校は吉野東中学校と向かい合わせ、一小一校会場で行いました。小中で連携して指導していくこ

お知らせ INFORMATION

2026年07月06日	ブログ	小中連携研修会
2026年05月10日	ブログ	あいさつ運動
2026年03月23日	お知らせ	令和8年度年間行
2026年03月11日	お知らせ	小中連携研修のま
2026年02月06日	お知らせ	学校だよりの掲載

交通安全
危険箇所マップ

校区内には、通学路において道路や歩道の幅が狭い箇所が多くあります。また、交差点や見通しの悪い箇所もあり、児童も運転者も細心の注意が必要です。児童を見かけましたら、速度を落として優しい運転をお願いします。また、車での送迎も特別な事情がない限り、控えてください。

児童は、道路や歩道に広がらないよう注意して歩きましょう。（2列以内で、時に傘を差しているときは1列で）

※自転車に乗るときは、ヘルメット着用をしましょう!!

マップの見方

危険箇所マップをさらに詳しく見る事ができるようにQRコードを記載しています。『危険箇所ごとの写真』『子ども110番の家』『下校コース』を見ることができます。児童・生徒の安全な登下校を校区全体で見守っていきましょう。

危険箇所①

危険箇所②

危険箇所③

危険箇所④

危険箇所⑤

危険箇所⑥

危険箇所⑦

危険箇所⑧

通学保護員
4名で、よしや交通前、くじら亭近く、ありきストアー前、正門前の4箇所の横断歩道に立ち、毎朝児童の登校指

スクールガード
学校外周と校庭のゴミ拾い、あいさつ運動などの活動を行っています。学校から不審者情報があった場合はパトロールをすることもあります。

青パト
町内会によって、青パトをまわらせて、児童を見守る活動をしていただいています。

路上駐車は危険!
登下校時間帯の学校周辺での路上駐車は、交通事故の原因になります。警察からも何度も指導されています。

危険箇所⑥

地図 (Googleマップで以下の住所で検索するか、以下のURL をクリックすると出ます。)

吉野町5915-2
<https://www.google.co.jp/maps/@31.6473278,130.5868378,19z>

地域
中別府

内容

見通しが悪く、出会い頭の事故直前といったケースも多数ある。また、学校の敷地のすぐ外で、持久走大会のときのコース上にもなっている。

現地写真

→「校区安全マップ」等を、学校のWebページに掲載、もしくはグループウェアにて学校間で共有

※1人1台端末でも閲覧可能

→危険箇所等については、より詳細な情報を表示できるようにする等の工夫を実施

鹿児島市立吉野東小学校Webページから

<https://www.keinet.com/yoshihis/>

アプリ：生成AI（Google Gemini）を活用して試作

8

【2.危険予知・安全マップ作成】 校区安全マップアプリの作成と利用（生成AIの活用）

【アプリ作成のプロンプト】

吉野東小学校の「校区安全マップ」アプリを作成します。
マップの範囲は、添付の地図を使用してください。

以下の機能を有する「校区安全マップ」アプリを作成してください。

#教職員、児童生徒、地域の住民等が、Web上で共有できること。

#地図上の任意のポイントをクリックすると、そのポイントの危険に関する情報や撮影した画像を、共有する誰もが危険度のステータスを含めて入力できること。

#新規に情報が登録されると、そのポイントが一定期間、強調表示されること。

#新規に情報が登録されると、共有しているメンバーに通知されること。

#危険個所のリストや情報等に関するダッシュボードを表示できること。

#児童生徒も入力できるようにして、UIを分かりやすく、平易な言葉にできること。

アプリ：生成AI（Google Gemini）を活用して試作



【2.危険予知・安全マップ作成】 校区安全マップアプリの作成と利用（生成AIの活用）



アプリ：生成AI（Google Gemini）を活用して試作

地図データ：© OpenStreetMap contributors（ODbL）

WebアプリのURLを共有し、誰もが閲覧できるだけでなく、
情報を書き込むことができるようにすることで、学校の安全マップづくりに、学校・児童生徒・保護者・地域が一体となって、インタラクティブ（双方向）かつアクティブ（動的）に参画できるようにする。

【2.危険予知・安全マップ作成】 校区安全マップアプリの作成と利用

警察庁が公表している交通事故オープンデータを取込み、
実際の事故の情報をマップに反映させる。

(オープンデータの利用)

交通事故統計情報のオープンデータ https://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/opendata/index_opendata.html

よしのひがし小 あんぜん・じこマップ
地域危険報告 & 警察交通事故オープンデータ統合版

やさしい言葉(児童むけ) たんけんマップ みんなのグラフ あぶない事故いちらん 事故データ取込

表示しほりこみ・事故データ 吉野東校区

あぶない場所・事故があった場所
地図を押すと新しい危険場所を登録できます。紫色のマークは**過去の実際の交通事故発生データ**です。

過去の交通事故履歴を表示 ☒
警察庁交通事故オープンデータ(鹿児島県警察)に基づく過去の事故発生箇所です。
自治体/警察CSVデータを追加読み込み

住民投稿の表示
☒ ぜんぶ表示する
☒ 交通・見とお
☒ しらない人・こ
☒ 段さ・みぞ・道
☒ まちとうが少

アイコンの凡例
過去の交通事故
住民報告(注意)

交通事故データ 軽傷事故
菅蒲谷方面 細街路 出会い頭事故
発生日時: 2022年11月04日 17:30頃
事故種別: 人身事故(出会い頭)
当事者: 乗用車×自転車(中学生)
天候: 薄暮
見通しの悪い交差点にて自転車が飛び出し、進行車両と接触。
出典: 警察庁交通事故オープンデータ(鹿児島県警)

吉野公園線 215 吉野公園線
吉野町中別府
吉野東小学校
吉野東小学校へもどる
Leaflet | © OpenStreetMap

【3.登下校及び校内外における安否確認】 校務用端末の導入事例

① 緊急時等における教職員間の迅速な情報共有



※画像は、鹿児島市立福平小学校

【3.登下校及び校内外における安否確認】 校務用端末の導入事例

②セキュリティ対策の強化（適切な記録画像の撮影）



校内、校区における危険箇所等の
画像撮影と即時共有



【3.登下校及び校内外における安否確認】 校務用端末の導入事例

③欠席連絡のデジタル化と即時共有による確認（校務支援用アプリ等との連携）



学習eポータルにおける
保護者連携機能「出欠連絡」

ed-cl.com

出欠連絡詳細

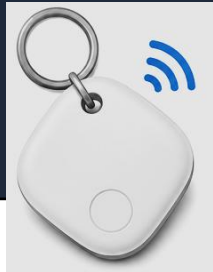
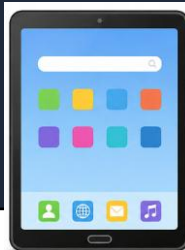
[] の出欠連絡					出欠一覧	
日付	欠席	遅刻	早退	他	お名前	コメント
2月7日(土)	0	0	0	0	[]	おはようござい...
2月6日(金)	2	2	0	0	[]	夜中からまた発..
2月5日(木)	3	1	0	0	[]	2/3よりインフ...



【3.登下校及び校内外における安否確認】 位置情報確認ツールの利用

学校導入時は、位置情報が個人情報になり得るため**目的・取得範囲・保存期間・閲覧者の明確化**が重要であり、文部科学省の教育情報セキュリティ指針を踏まえた運用対策が求められる。

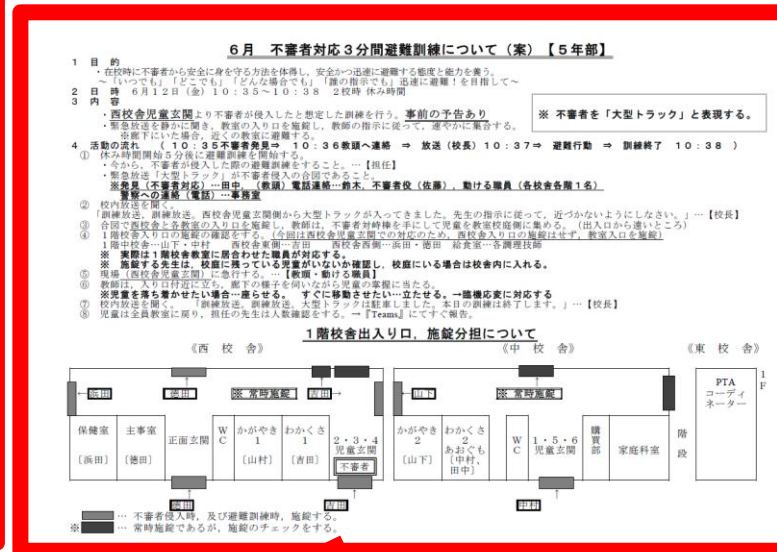
画像はChatGPTで作成

項目	スマート・タグ 	GPSTラッカー 	GPS搭載タブレット (セルラー) 
主な目的	所在確認・所在位置の搜索	リアルタイムでの見守り	リアルタイムでの見守り＋学習
位置精度 リアルタイム性 ・移動履歴	△ 周辺端末に依存 △ 移動履歴は難しい。	◎ GPS ＋ 携帯通信 ◎リアルタイム性及び移動履歴可	◎ GPS ＋ 携帯通信 ◎リアルタイム性及び移動履歴可
費用目安 (本体 / 通信費)	本体: 約4,000～5,000円通信費: 不要な製品が多い	本体: 約3,000～6,000円 通信費: 月500～800円程度 (要契約)	既存端末の活用で追加費用無し 通信費: 通信契約が必要
バッテリー性能	◎長期間(年単位:交換式等)	○数日～数週間程度	△ 毎日の充電が必要
学校での管理 一括運用	一括管理: △難しい 操作性 : ◎非常に簡単	一括管理: ○比較的可能 操作性 : ○簡単	一括管理: ◎デジタル学習基盤連 操作性: △高機能(MDM経由)
向いている 活用方法	日常の簡易的な見守り	登下校・校外学習	校外学習 ＋ 学習活動 持ち帰りの場合は登下校にも有効

【4.危機管理マニュアルの作成・更新】クラウド型インタラクティブマニュアルの作成

文部科学省マニュアル・ガイドライン等

自校の「避難訓練マニュアル」



文部科学省の「学校の危機管理マニュアル作成の手引き」や「学校事故対応に関する指針」等のガイドラインに基づき、ご提示いただいた「6月 不審者対応3分間避難訓練計画（案）」について分析いたしました。 DOC

結論から申し上げますと、「短時間で防犯意識を高める」という意図は大変素晴らしい一方で、文科省が求める「安全確保の実効性」や「教職員の防犯対応」の観点から重大なセキュリティ上の課題がいくつか見受けられます。

以下に「現状の課題」と、それを踏まえた「改善案」をまとめました。

1. 文科省ガイドラインに基づく主な課題

① 隠語（「大型トラック」）の使用による伝達の遅れ・混乱

- **課題:** 「大型トラック＝不審者」という隠語を使用していますが、文科省の指針では「緊急時は、児童生徒・教職員が一瞬で事態を把握できる明確な言葉で放送・伝達すること」が推奨されています。
- **理由:** 児童や経験の浅い職員、非常勤講師などが隠語の意味を一瞬で理解できないリスクがあります。また、校内に本物の大型トラックが侵入した際との混同を招きます。

指摘箇所は、原文で確認する

この改善点を反映した避難訓練案をインタラクティブなマニュアルにして。

※この後、幾つかの条件を足し、ブラッシュアップ

どんなことに取り組みましょうか？

PDF
文部科学省
「学校の
危機管理マニ...

PDF
(サンプル)
避難訓練マニ
ュアル

添付の「文部科学省『学校の危機管理マニュアル』」に照らして、「(サンプル) 避難訓練マニュアル」の課題を明らかにした上で、改善案を示して

+

Flash

🔊

↑

Google Geminiで作成

【4.危機管理マニュアルの作成・更新】クラウド型インタラクティブマニュアルの作成 オンライン上で共有することで、関係者の端末からいつでも確認できるようにする。

不審者対応
避難訓練マニュアル
令和8年6月実施 改善案

訓練概要

改善ポイント

タイムライン

役割と体制

教室での行動

AI防犯サポート

訓練概要と目的

本セクションでは、今回の避難訓練の全体像と中核となる目的を提示します。文部科学省のガイドラインに準拠し、「いつでも」「どこでも」「どんな場合でも」自発的に命を守る行動がとれるよう、教職員と児童の防犯意識を実践的なレベルへと引き上げることが目指しています。

3つの主要目的

- 避難行動の体得: 室内退避・施錠・静寂保持など、状況に応じた安全確保行動を身につける。
- 初期対応の習得: 複数名での対峙、緊急連絡、確実な人員把握など、教職員の連携体制を検証する。
- 実践的防犯意識: 形骸化を防ぎ、自発的かつ臨機応変に動ける意識を養う。

実施日時: 令和8年6月12日(金) 10:35～10:40 (2校時休み時間)
場所: 西校舎児童玄関、各教室、校庭

3分間(+2分)の時間配分

わずか5分間で全校の安全を確保する流れを視覚化

発生・緊急放送・110番 (1分)
現場対応・施錠・室内退避 (2分)
制圧・安否確認・本部報告 (2分)

【4.危機管理マニュアルの作成・更新】クラウド型インタラクティブマニュアルの作成 生成AI機能の活用

★ 動的訓練シナリオ生成

侵入場所や状況を指定して、新しいシミュレーションシナリオを作成します。

想定侵入場所

給食室・西校舎通用口

不審者の動向・難易度

言葉に耳を貸さず素早く移動する凶行タイプ

★ AIにシナリオを作成させる

💡 生成された動的訓練シナリオ:

学校危機管理の専門家として、文部科学省の「学校の下校時等における児童生徒の安全確保に関する取組指針」および最新の防犯マニュアルに基づき、**「言葉が通じず、素早く移動する凶行タイプ」**を想定した動的訓練シナリオを作成します。

このタイプは説得が不可能なため、**「いかに接触を避け、時間を稼ぎ、警察に引き継ぐか」**に特化した対応が求められます。

不審者対応避難訓練シナリオ：西校舎通用口侵入事案

★ 教職員振り返りAIアドバイザー

訓練後に見つかった課題や感想を入力すると、文科省ガイドラインに基づく改善アドバイスを提供します。

訓練後の気づき・課題の入力

避難誘導に時間がかかってしまった。

★ AIアドバイスを生成する

💡 AIアドバイザーからの改善提案:

学校安全・危機管理のエキスパートとして、ご提示いただいた課題「避難誘導に時間がかかってしまった」を深く分析し、文部科学省の『学校の危機管理マニュアル作成指針』等に基づいた改善アドバイスを提示します。

「時間がかかった」という事実は、訓練において**最も価値のある気づき**です。これを「失敗」ではなく「改善の種」として、具体的に以下の3つの視点から掘り下げていきましょう。

1. 詳細な要因分析（なぜ時間がかかったのか？）

侵入者の様子や侵入場所に応じた
多様な訓練シナリオの創出

訓練後の反省点を都度、入力し、
改善点に関するフィードバックを生成

【5.安全教育の充実】 VR/AR及びシミュレーション教材の活用

地震、津波、豪雨、火山等をVR/ARやシミュレーション等で疑似体験

「知る→備える→行動する」という防災学習を構成



3分でできる避難訓練
スマホ避難シミュレーション＜地震編＞

https://bosai.yahoo.co.jp/sp-hinan/pc/?cpt_n=ly_sg-sphinan&cpt_m=all&cpt_s=ly_sg-sphinan_close

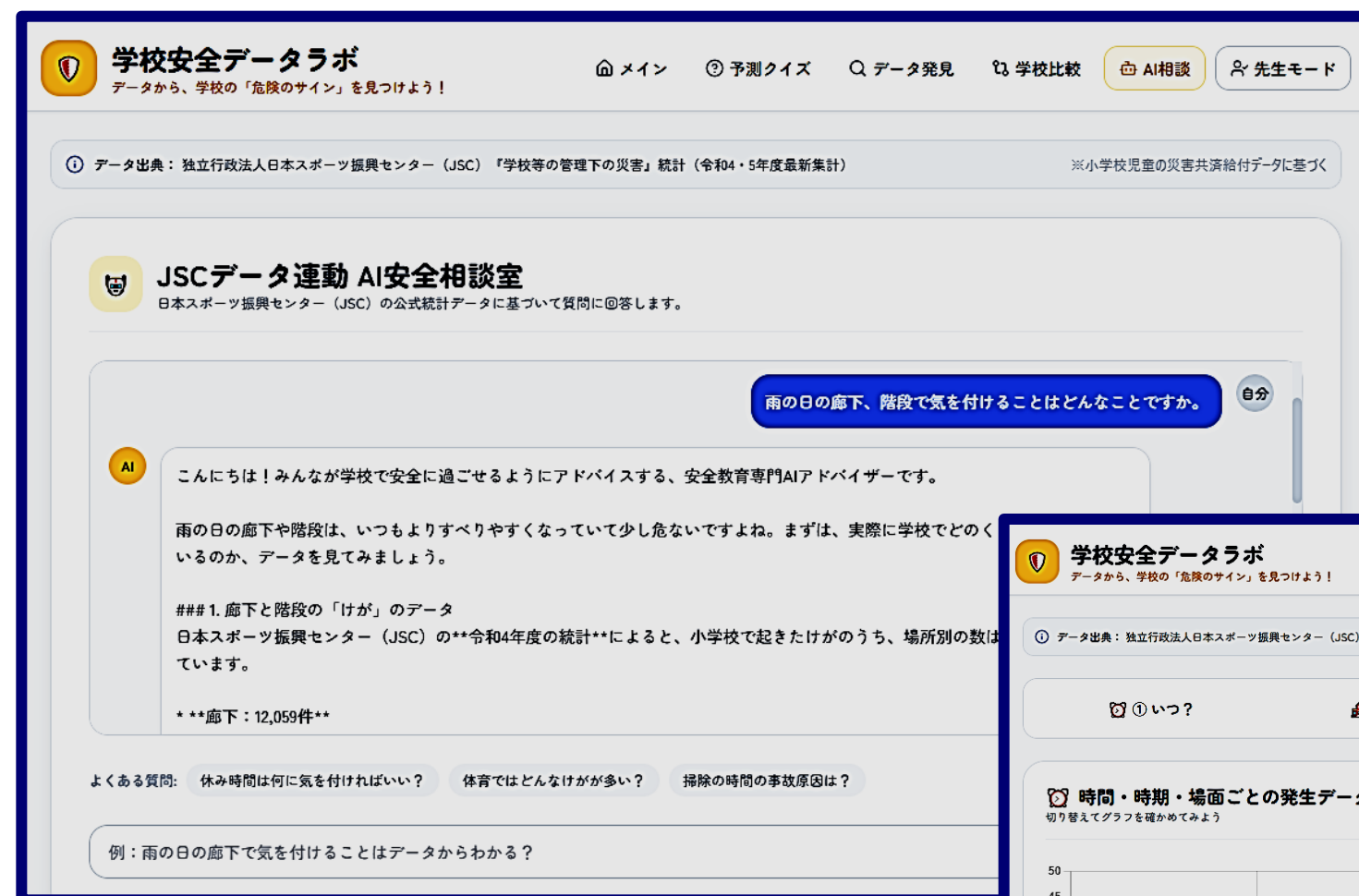


「浸水体験AR」
国土交通省中部地方整備局

https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/portal_bousai/shinsui_taiken_ar/index.html

【5.安全教育の充実】 主体的な学びの実現（データを活用した教材の作成）

日本スポーツ振興センターの公開データを組み込み、子供が主体的に「探す・気付く・比較する・予測する・考える」ことを想定したAI安全アドバイザー機能をもつアプリを生成AIで作成



校内のけがに関する統計データの
閲覧



▲ データを基にして、校内のけがを防ぐために必要なことや対策を、主体的に調べる。

▲ データを基にして、AIが校内の安全に関する質問に回答する。

日本スポーツ振興センター「学校等事故事例検索データベース」

https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/tabid/822/default.aspx

デジタル防災安全マップ作りを通して、子供自身が当事者意識をもち、主体的に考え、判断し、行動する力を育む学習活動

火事からくらしを守る

～調べよう・広げよう わたしたちのデジタル防災安全マップ～

小学校3年生社会科 / 「情報の時間」との関連を図る

課題
目的

知識・理解



火災予防や消火活動、地域の防災設備を理解する

思考・判断



校区の防災施設や危険箇所について考え、判断・表現する

主体・態度



タブレットを活用し、主体的に地域の安全に取り組む

1 第1時：問いの創出



2 第2時：校内探検



第3時：校区フィールドワーク



第4時：消防団インタビュー



5 第5時：情報整理



6 第6時：マップ完成



7 第7時：マップ発表



8 第8時：まとめ



デジタル防災安全マップ作りを通して、子供自身が当事者意識をもち、主体的に考え、判断し、行動する力を育む学習活動

「学習指導案」を読み込ませて、
学習過程に沿った「デジタル『校
区防災安全マップ』アプリを、
生成AIで作成する。

この学習で使用する「デジタル
「校区防災安全マップ」アプリを作成してください。
子供たちがそれぞれの端末から、共有するマップに
入力することができるような設計にしてください。
サンプルとして、消火栓や防火水槽、熱感知器や
煙感知器、消防署等の画像を入れて
作成してください。
地図の範囲は、添付の地図の範囲を
適用してください。

#学習の内容#

小学校3年生社会科「火事からくらしを守る」に
ついて、児童がタブレットをフル活用して課題解決に
挑み、デジタル防災安全マップの作成を通じて
安全上の判断力を養う全8時間の提案型学習計画
1.単元の概要と目標
単元名：火事からくらしを守る～調べよう・広げよう
わたしたちのデジタル防災安全マップ～

単元目標：

知識・理解：火災の予防や火災発生時の通報・
消火等の仕組み、地域の防災設備（消火栓・
防火水槽など）の配置や役割を理解する。

思考・判断・表現：校内や校区の危険箇所や
防災施設に関心を持ち、災害から身を守るために
どのような行動や備えが必要かを考え、判断・
表現する。

主体的に学習に取り組む態度：デジタル端末
（タブレット）を活用して協力的に観察・調査を

アプリ：生成AI（Google Gemini）を活用して試作

地図データ：© OpenStreetMap contributors（ODbL）

デジタル「校区防災安全マップ」 小3社会科

1班（赤グループ） たろう 共有中 AI防災はかせ

【メイン】防災マップ入力 第1-4時：たんけん・記録 第5時：ぶんせき・発見 第6-7時：はっぴよう・相互評

ぜんぶ (5) 知らせる (1) 消す (4) 防ぐ・逃げる (0) 声・メモ (0) 新しいピンを置く

地図上をクリックして調べたことを入力

新しい防災ピンを追加
発見した設備や写真・動画を記録しよう

ピンの種類（分類）：
消火栓（消す）

名前・場所のタイトル：
ホテルの横の消火栓

設置する場所（位置座標）：
31.5891, 130.5521 地図から指定

写真・動画のアップロード / 撮影：
写真・動画をえらぶ / スマホで撮影

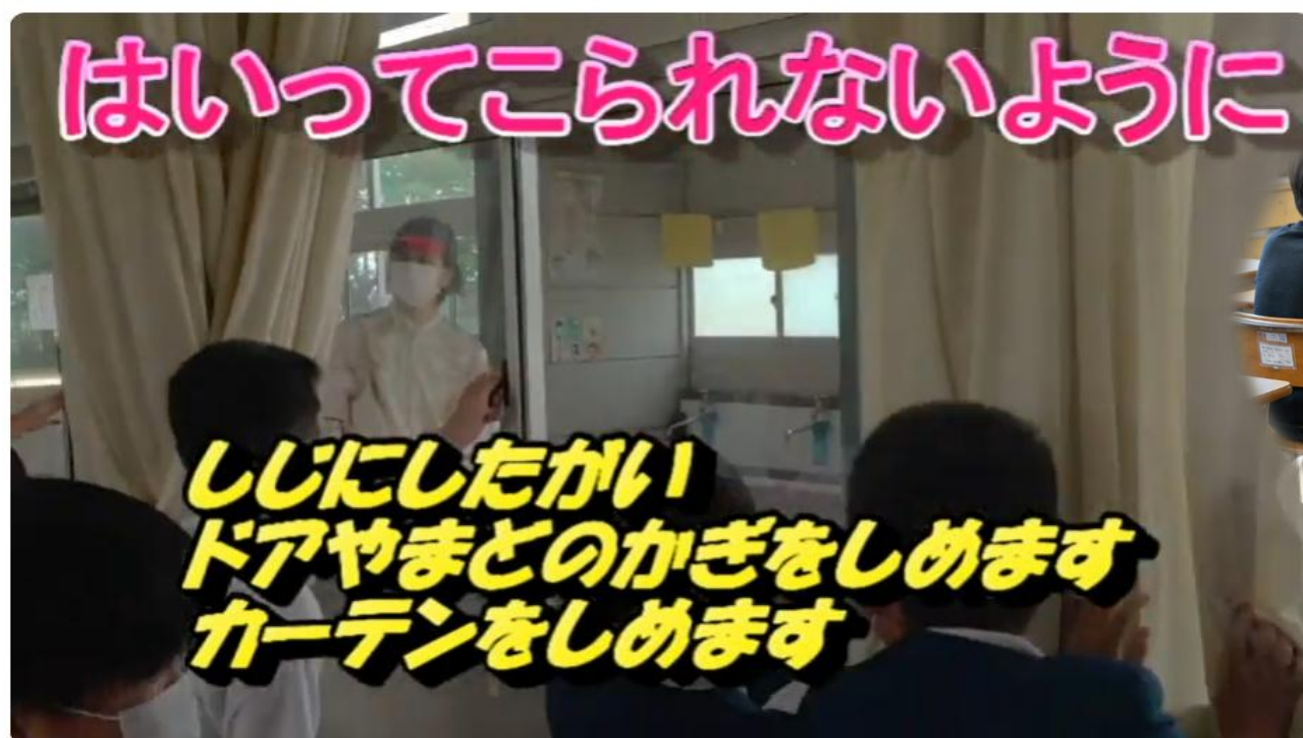
説明・気づいたこと・感想：
こんな大きな通りに消火栓があるなんて気づきませんでした。

キャンセル マップにピンを置く！

【5.安全教育の充実】 VR/AR及びシミュレーション教材の活用 不審者侵入時の対応訓練の様子を、全校で動画による共有



一度の不審者対応訓練の際に、どのような事が起き、どのような対応を行っているかを、子ども自身が概観し、全体的な理解を深めることで、対応力を高める。



画像はChatGPTで作成



児童生徒全員が、訓練後に動画を閲覧

鹿児島県 垂水市立協和小学校 竹下 順平 教諭 提供

学校安全のDX化における考え方

1. 「人間中心」であること

デジタル技術やAIは、教職員の判断を置き換えるものではなく、情報の収集・整理・比較・通知を支援するものである。特に緊急時の避難判断、救命措置、保護者への説明、児童生徒への心理的支援については、最終的な判断と責任を人が持たなければならない。

2. 「平時から使う仕組み」であること

災害時だけ使用するシステムは、操作に不慣れであったり、アカウントや端末が使えなかったりする可能性が高い。日常の欠席連絡、健康観察、安全点検、校外活動管理、保護者連絡等で使用している基盤を、非常時にも活用することが望ましい。

3. 「デジタルと非デジタルの併用」であること

停電、通信障害、端末破損、混雑による通信遅延等を想定し、デジタル一本に依存せず、紙の緊急時カード、校内放送、無線機、掲示、電話連絡、地域の人的ネットワーク等を残し、通信手段を複線化する必要がある。危機管理マニュアルも、詳細版はクラウドで管理する一方、初動対応に必要な内容は一枚のアクションカードや携帯用カードとして整備することが有効である。

4. 個人情報保護とセキュリティを設計段階から組み込むこと

学校安全データには、場合によっては、氏名、健康情報、障害特性、アレルギー、家庭状況、保護者連絡先、位置情報、事故記録等の機微な情報が含まれる。したがって、後からセキュリティ対策を追加するのではなく、収集項目の最小化、アクセス権限、保存期間、操作ログ、外部提供、廃棄方法までを導入時に決めておくことが不可欠である。